

▼オープニング&ブレイクアウトセッション（14:00～14:15）

【一般社団法人 手話エンターテイメント発信団 oioi】

2016年法人設立。大阪を拠点に全国各地で活動中。

“きこえる人”と“きこえない人”の間にある心のバリアを壊すために、手話コントや手話歌等のパフォーマンス活動、手話や聴覚障害について楽しく学べるワークショップを実施。約3ヶ月みっちり学べるオンライン手話講座も人気を集めている。NHK「バリバラ」「ろうを生きる難聴を生きる」出演、TEDxKobe2019登壇。

▼講演パート①（14:15～15:15）

タイトル：多様性を理解し活かあう ミキハウス人材活用の5つの取組み



【株式会社ミキハウス人事部 部長 花木 孝典 氏】

2002年ミキハウス入社

営業事務・経理・生産管理・労務を経て、2021年より現職。

ヒト・モノ・カネ・情報と各分野に携わった経験から、多角的な視点で経営に関わることが目下の課題。

家族：妻・高2男子・中3女子

趣味：サッカー、マラソン

【株式会社ミキハウス 人事部労務課 課長 佐藤 美帆 氏】

2004年ミキハウス入社

同社の新卒採用・アルバイト採用を経て、2021年より同職。2度の産休育休取得を経て、女性のキャリアをサポートすることや全社員がエンゲージメントの高い職場環境を目指して、日々奮闘中。

家族：夫・小5・小1の姉妹・フェレット1歳

趣味：子供と一緒に習う合唱♪、ビール☆

MIKI HOUSE

株式会社ミキハウス

創業 1971 年

子供服及び子どもを取りまくファミリー関連商品の企画・製造・販売を中心に、出版・教育・子育て支援などの文化事業を幅広く行っています。

▼トークセッション (15:25~16:10)

タイトル：多様性時代の商品・サービス 新しいビジネスのチャンス！



【ファシリテーター 大谷 邦郎 氏】

神戸大学法学部卒

1984年 MBS入社 大半をテレビ・ラジオの記者として過ごす。

その後、ラジオ報道部長、宣伝部長、人事局キャリア推進部長を歴任し、2016年11月、情報発信コンサルタントとして独立し、「グッドニュース情報発信塾」を立ち上げる。文字通り「情報発信」や「危機管理広報」「コンプライアンス」に関するセミナーを、企業や大学・自治体などで行う一方、様々な企業や施設・団体で、情報発信のためのコンサルタントを行っている。また、大学生への就活支援も熱心で、様々な大学等で講演多数。

大阪産業創造館経営相談室 登録専門家「経営サポーター」



【大栗紙工株式会社 大栗 康英 氏】

1955年7月20日、大阪市生野区生まれ。大学卒業後、大手文具メーカーに約10年勤務したのち、大栗紙工株式会社に入社。1996年社長就任後、現在に至る。大栗紙工株式会社は昭和5年創業の紙製品製造会社で、昭和38年にノートの生産を開始して以来約60年となり、現在、OEMを中心に年間約2000万冊のノートを生産している。2年前からは、自社ブランド商品として、発達障がい者の困りごとを聞き取り、その解消のため一緒に開発した「mahoraノート」の発売を開始し好評を得ている。



発達障がい当事者の方々が安心して使えるノートの開発を試みました。のべ約100名の当事者の方にアンケート調査を行い、紙の色やけい線の種類・間隔、表紙のデザイン、一冊のページ数など、たくさんのご意見をいただきました。その後、数々の試行錯誤を経てたどりついた、2つのノートのかたち。発達障がいの当事者だけでなく、子どもからお年寄りまで、みなさんに選んで使っていただける「mahora（まほら）」がうまれました。



【株式会社サポートどれみ 代表取締役/一般社団法人京都バリアフリーツアーセンター 代表理事/京都府旅行業協同組合 理事 中村 敦美 氏】

デザイン系専門学校卒業後、下着メーカーに就職しデザイナーとして勤務。結婚後、姑と二女の介護経験をきっかけに事業を始める。介護ヘルパーとして従事した後、2013年介護保険外サービス事業「生活サポートセンターどれみ」を個人事業として起業する。バリアフリー京都観光サポートセンターを開設。京都への観光客にバリアフリー情報の発信や車いすのレンタル、ヘルパー手配などを始める。

2023 年 障害者就労支援事業所として座席が車イスというウィールチェアカフェ SPRING を開業。車イスの購入資金100万円をクラウドファンディングで調達した。

<受賞歴>

第 6 回 京都府女性起業家賞

京都商工会議所女性会賞・日本政策金融公庫グッドプラン賞 受賞

第 10 回 京都府女性起業家賞 最優秀賞受賞

第 10 回 京の公共人材大賞スポンサー賞京都信用金庫賞受賞



【一般社団法人手話エンターテイメント発信団 oioi 岡崎 伸彦 氏】

1982 年生まれ。花園大学卒。一般社団法人 blue earth green trees 理事。

生まれたときから耳が全くきこえない。デフファミリー（家族全員が聴覚障害者）育ち。幼いころからヒーローものが大好きで、とにかく負けず嫌いだったため、聴覚障害を理由に「できない」と言うことを拒み、いろんな壁を努力で乗り越えてきた。その経験から得た強靱なポジティブマインドを活かし、今現在は「きこえる人」と「きこえない人」の間にある心のバリアを壊すことをめざしている。東京 2020 パラリンピック開会式出演、TED×Kobe 2019 登壇、E テレ「バリバラ」出演多数

<中村氏と岡崎氏の取組み、きこえないメンバーと行く！サイレントツアー>



中村氏が運営するバリアフリーツーリズム京都が主催し、岡崎氏が理事を務める手話エンターテイメント発信団 oioi さまの聴覚障害のあるメンバーがツアーのガイド役となって、参加者とともに京都市内の観光地を巡る。

一方参加者たちは、一泊二日、最後のランチタイムまで一切喋らない。身振り、手振り、ジェスチャー、筆談、出来る人は手話などを駆使して、目的地に向かう、お土産を買うと言う奇想天外なツアーを敢行された。

▼講演パート② (16:10-17:10)

タイトル：社員から生まれるアイデアを活かしあう広報・PR戦略



【ライソン株式会社 広報 三上 紅美子 氏】

故郷の地方新聞社勤務ののち広報職へ。広報歴8年。

神戸の老舗ホテルのマーケティング担当、日本一の大観覧車プロジェクトの広報、複数の新規開業施設の広報を経て、2020年より現職。

家電メーカーとしてまだ無名に近かったライソン株式会社の広報活動に取り組み、同社が掲げる「日常に、非日常を。」のミッションを世に広めるべく奔走。ライソンに来てからのTV露出は300回以上を達成。

<ライソン株式会社>

2018年創業、東大阪に本社がある従業員数35人の家電と雑貨のメーカー。

関わるすべての人に「笑顔」「驚き」「面白さ」を届けることこそをライソンの使命し、自分達がつくる商品価値で、世の中の人たちの笑顔を作りたいという想いで新しい家電づくりに取り組んでいる。代表的な商品に「ギガたこ焼き器」「せんべろメーカー」「応答くん」「超蜜やきいもトースター」等がある

